

藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事

図 面 目 録

図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
A－00	表紙 図面目録	NONSCALE	A－16	建具表2	1：100
A－01	建築工事改修特記仕様書(R8.1) 1/4	NONSCALE	A－17	建具表3	1：100
A－02	建築工事改修特記仕様書(R8.1) 2/4	NONSCALE	A－18	建具表4	1：100
A－03	建築工事改修特記仕様書(R8.1) 3/4	NONSCALE	A－19	軒下パネル詳細図	1：150、1：50
A－04	建築工事改修特記仕様書(R8.1) 4/4	NONSCALE	A－20	防水詳細図	1：15
A－05	建築施工条件特記仕様書	NONSCALE			
A－06	工事概要 案内図 全体配置図	NONSCALE			
A－07	仮設計画図	1：400			
A－08	1階平面図	1：300			
A－09	2階平面図	1：300			
A－10	R階平面図	1：300			
A－11	屋根伏図	1：300			
A－12	軒伏図	1：300			
A－13	立面図1	1：300			
A－14	立面図2	1：300			
A－15	建具表1	1：100			

藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課 静岡県藤枝市岡出山1丁目11-1	建設工事名 藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事	図面名 表紙 図面目録	縮尺	NONSCALE	図面番号 A-00
			日付	2026.7	

A-01

○9 シーリング (3.1.4) (3.7.2～8)

シーリング 改修工法の種類

- シーリング 充填工法
- シーリング 再充填工法
 - ・ 拡幅シーリング 再充填工法
 - ・ プラッジ 工法
 - ・ ぼんぼり プレカー張り
 - ・ エッジング 材張り

シーリング 材の種類、施工箇所
下記以外は(表3.7.1)による

施工箇所	シーリング 材の種類(記号)

仕上げを行わない施工箇所

○ シーリング 材の目地寸法

- ・ 図示による
- ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による
- ・ 図示による

目地位置

シーリング 材の試験

- ※ 図示
- ※ 簡易接着性試験
- ・ 引張接着性試験

○10 とい (3.8.2、3) (表3.8.1)

といその他の材種

- ・ 配管用鋼管
- ・ 硬質ポリ塩化ビニル管
- ・ ルーフドレン
- ・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類

とい受金物

材種

- ※ 改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

形状

- ※ 市販品(とい径100以下)
- ※ 25×4.5以上(とい径100を超えるもの)

取付け間隔

- ※ 改修標準仕様書3.8.2による

足金物

材種

- ※ 改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

形状

- ※ 市販品

取付け間隔

- ※ 改修標準仕様書3.8.2による

・ 多雪地域の適用

防露材の断熱性能の放熱量

- ※ F☆☆☆☆

既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法

- ・ 図示による

鋼管製といの防露巻き

- ※ 改修標準仕様書表3.8.4による

ルーフドレンの種類及び呼び

種類	呼び	施工箇所
・ ろく量換用たて形1型	※ ねじ込み式	・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150
・ ろく量換用横形1型	※ ねじ込み式	・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150
・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式	・ 50 ・ 80 ・ 100
・ バルコニー用	・ 差し込み式	・ 50 ・ 75 ・ 100
	※ ねじ込み式	・ 50 ・ 80 ・ 100
	・ 差し込み式	・ 50 ・ 75 ・ 100

たてどい受金物の取付け

ルーフドレンの取付け

- ※ 図示による
- ※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

11 アルミニウム製笠木 (3.9.2、3)

種類

- ・ 押出形 (・ 押出250形
- ・ 押出300形
- ・ 押出350形
- ・ 図示)
- ・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式
- ・ 本体幅 () mm
- ・ 板厚 (※ 2.0mm
- ・) mm)

表面処理

種別 (・ 色合等

- ・ 標準色 ()
- ・ 特注色 ()

・ 既存笠木等の撤去

範囲

- ※ 図示

下地補修の工法

- ※ 図示

板材折曲げ形の笠木の取付方法

- ※ 図示

笠木の固定金具の工法等

1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

4章

外壁改修工事（共通事項・材料）

○ 1

施工数量調査

(1.6.2、3)

調査範囲

○ 外壁改修範囲

・ 図示の範囲

調査内容（調査内容は壁面へ表示する）

ひび割れ	ひび割れの幅（0.2mm未満、0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上）及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無、及び錆汁の流出の有無を調査する。
浮き	塗料塗仕上げ及び張り仕上げについては浮き部分、欠損部の形状、寸法等を調査する。
剥離・剥落	コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。
塗り仕上げ	コンクリートまたは塗料表面のはがれ及びはく落部を調査する。 また、既存塗膜と新規上塗料との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法

・ 図示

・

調査報告書の部数

表1部

・

報告書の内容

調査者（氏名、資格等）、調査日、調査結果一覧表、図面、写真等

4-1章 外壁改修工事（コンクリート打放仕仕上げ外壁改修）			
○1 ひび割れ部改修工法			
○樹脂注入工法（ひび割れ幅0.2以上～1.0mm以下の場合に適用）			
工法の種類		ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)
※自動式低圧※樹脂注入工法		0.2以上～1.0以下	※200～300
・手動式※樹脂注入工法		0.2以上～0.3未満	・50～100
・機械式※樹脂注入工法		0.3以上～0.5未満	・100～200
		0.5以上～1.0以下	・150～250
注入状況の確認方法		※圧抜きを行う	・
取り回数		※長さ500mごと及びその端数につき1個	・
取り部の補修方法		※図示	
○ウレタン材充填工法（ひび割れ幅1.0mm超の場合に適用）			
・シーリング材		充填材料の種類	※1成分又は2成分※ウレタン系
		シーリング材のうえに※マーセメントモルタルの充填（性能、試験方法は別表による）	・
		・行う	・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書第3章 防水改修工事による			
・可とう性※樹脂			
・シール工法（ひび割れ幅0.2mm未満の場合に適用）			
・パテ状※樹脂			
・可とう性※樹脂			
○2 欠損部改修工法			
・鉄筋等の防錆処理 処理方法		※図示	
※充填工法		（ ・ ※樹脂モルタル ・ ※マーセメントモルタル ）	
4-2章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）			
○1 既存モルタル塗りの撤去			
・行う（※全面 ・ 図示の範囲内） ・ 行わない			
撤去後の処理「4-1.1ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。			
○2 ひび割れ部改修工法			
・既存モルタル塗りの撤去 範囲			
※図示			
・樹脂注入工法			
工法の種類		ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)
※自動式低圧※樹脂注入工法		0.2以上～1.0以下	※200～300
・手動式※樹脂注入工法		0.2以上～0.3未満	・50～100
・機械式※樹脂注入工法		0.3以上～0.5未満	・100～200
		0.5以上～1.0以下	・150～250
注入状況の確認方法		※圧抜きを行う	・
取り回数		※長さ500mごと及びその端数につき1個	・
取り部の補修方法		※図示	
・ウレタン材充填工法（ひび割れ幅1.0mm超の場合に適用）			
・シーリング材		充填材料の種類	※1成分又は2成分※ウレタン系
		シーリング材のうえに※マーセメントモルタルの充填（性能、試験方法は別表による）	・
		・行う	・行わない
・可とう性※樹脂			
・シール工法（ひび割れ幅0.2mm未満の場合に適用）			
・パテ状※樹脂			
・可とう性※樹脂			
○3 欠損部改修工法			
・鉄筋等の防錆処理 処理方法		※図示	
・充填工法		（ ・ ※樹脂モルタル ・ ※マーセメントモルタル ）	
・モルタル塗替え工法		・現場調査材料（セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による）	
		・既調合材料（ ）	
既製目地材		・使用する（形状	※図示）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理		※図示	・
○4 浮き部改修工法			
工法の種類		アンカーの本数 (本/m ²)	注入口の箇所数 (箇所/m ²)
		一般部	指定部
・アンカーシリング部分※樹脂注入工法		※16	※25
・アンカーシリング全面※樹脂注入工法		※13	※20
・アンカーシリング全面※マーセメントスクリー注入工法		※13	※20
・注入口付アンカーシリング部分※樹脂注入工法		※9	※16
・注入口付アンカーシリング全面※樹脂注入工法		※9	※16
・注入口付アンカーシリング全面※マーセメントスクリー注入工法		※9	※16
・充填工法			
・モルタル塗替え工法			
アンカーの材質			
※スチール鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの			
注入口付アンカーの材質			
※スチール鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度			
注工法用材料			
・※マーセントスクリー			
広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)		

4-3章 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁改修）

○1 既存タイル張りの撤去

・ 行う

※

外壁タイル張り全面

・ 図示の範囲

（

）

・ 行わない

撤去範囲

※

下地もタイルまで

・ タイルのみ

※

張付もタイルまで

撤去後の処理

・ 「4-1. 1. ひび割れ部改修工事」の後、「4-3. 3. 欠損部改修」を行う。

・ 「4-2. 2. ひび割れ部改修工事」の後、「4-3. 3. 欠損部改修」を行う。

タイルの形状、寸法

（4. 4. 5. 8）

施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材の適用 [G]	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色	耐凍害性	耐凍り性	備考
				I 類	II 類	III 類	施釉	無釉	有	無				
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

・ 見本焼き（ 施工箇所 ）

・ 試験張り（ 範囲、仕様等は図示による ）

○2 ひび割れ部改修工事

（4. 1. 4）（4. 4. 5. 6）

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/㎡)
※ 自動式低圧式セメント樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※ 200～300	※ 130
・ 手動式低圧式セメント樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・ 50～100	・ 40
・ 機械式高圧式セメント樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・ 100～200	・ 70
	0.5以上～1.0以下	・ 150～250	・ 130

注入状況の確認方法

※ 27採取を行う

※ 採取回数

※ 長さ500㎝ごと及びその端数につき1個

・

採取部の補修方法

※ 図示

○3 欠損部改修工事

（4. 1. 4）（4. 4. 5. 7、8）

1㎡当たりの張替え面積が0.25㎡を超える場合の工法

・ 図示による

・ タイル部分張替え工法

接着剤の種類

・ ぶリマセントモタル（性能、試験方法は別表による）

・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成変成シリコン樹脂系

・ タイル張替え工法

張替え用材料

・ 接着剤：JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成変成シリコン樹脂系

・ 張付けモタル（ ・ 現場調合材料 ・ 既調合モタル ）

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

※ 改修標準仕様書表4. 4. 2による

・ 図示

・ 外装タイル張り下地等の下地モタル及び下地調整材塗りの接着剤力試験

・ セメントモタルによるタイル（セリックスタイル）張り

下地モタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理

・ 目荒らし工法（改修標準仕様書4. 3. 10による

・

タイル張りの工法

外装タイル

・ 密着張り

・ 改良圧着張り

コンクリートタイル

・ マスク張り

・ モザイックタイル張り

シーリング 改修特記仕様書3 章 防水改修工事による

・ 有機系接着剤によるタイル（セリックスタイル）張り

モタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理

・ 目荒らし工法（改修標準仕様書4. 3. 10(3)による

・

シーリング 材の種類

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地

※ ぶリゲラックスシーリング

・

伸縮調整目地その他の目地

※ 変成シリコン系シーリング

・

シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3 章 防水改修工事による

○4 浮き部改修工事

（4. 1. 4）（4. 4. 5）（4. 5. 9～15）

工法の種類	アンカーピンの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・ アンカーピン部 部分式セメント樹脂注入工法	※ 16	※ 25			※ 25
・ アンカーピン部 全面式セメント樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 25
・ アンカーピン部 全面式 リマセントスター注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 50
・ 注入口付アンカーピン部 部分式セメント樹脂注入工法	※ 9	※ 16			※ 25
・ 注入口付アンカーピン部 全面式セメント樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25
・ 注入口付アンカーピン部 全面式 リマセントスター注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 50
・ 注入口付アンカーピン部 部分式セメント樹脂注入工法					※ 25
・ タイル部分張替え工法					
・ タイル張替え工法					

アンカーピンの材質

※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全長切り加工をしたもの

・

注入口付アンカーピンの材質

※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度

・

・ タイル部分張替え工法

接着剤の種類

・ ぶリマセントモタル

・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成変成シリコン樹脂系

・ タイル張替え工法

張替え用材料

・ 接着剤：JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成変成シリコン樹脂系

・ 張付けモタル（ ・ 現場調合材料 ・ 既調合モタル ）

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置

※ 改修標準仕様書表4. 5. 1による

・ 図示

・ 外装タイル張り下地等の下地モタル及び下地調整材塗りの接着剤力試験

・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理	・ 目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
タイル張りの工法	
外装タイル	・ 密着張り
ユニットタイル	・ マスク張り
シーリング	※ドリレリク系シーリング
	※変成シリコン系シーリング
・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理	・ 目荒し工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
シーリング材の種類	
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地	※ドリレリク系シーリング
伸縮調整目地その他の目地	※変成シリコン系シーリング
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による	
目地詰め	※行う
	・ 行わない
○5 目地改修工法	(4.1.4)(4.4.16)
・ 目地ひび割れ部改修工法	
・ 伸縮調整目地改修工法	
伸縮調整目地の位置及び寸法	・ 図示による
シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による	
4-4章 外壁改修工事（塗り仕上げ外壁改修）	
○1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	(4.5.4)
工法	処理範囲
・ カッター工法	※既存仕上面全体
・ 高圧水洗工法	※既存仕上面全体
・ 塗膜はく離削工法	※既存仕上面全体
・ 水洗い工法	※カッター工法、高圧水洗工法、塗膜はく離削工法の処理範囲以外の既存仕上面全面
	・ 図示
	下地面の補修
	・ ひび割れ部改修工法
	・ 浮き部改修工法
	・ 欠損部改修工法
○2 下地調整塗装	(4.5.2)
下地調整	※下地調整塗材
	・ モノマリアセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）
○3 仕上塗材仕上げ	(4.1.5)(4.5.2)(表4.5.1)
新規仕上塗材の種類	
・ 薄付け仕上塗材	
種類（呼び名）	仕上げの形状
・	工法
・	防火材料
・ 厚付け仕上塗材	
種類（呼び名）	仕上げの形状
・	工法
・	上塗り
・	適用する
・	適用する
・ 複層仕上塗材	
種類（呼び名）	仕上げの形状
・	工法
	樹脂
	※アクリル
	・
	外観
	※つやあり
	・ フォット
	溶媒
	※水系
	・
	耐水性
	※耐水性3種
	・
	防火材料
	・
○可とう形改修用仕上塗材	
種類（呼び名）	仕上げの形状
・	工法
	樹脂
	・
	外観
	溶媒
	・
	耐水性
	・ 耐水性1種
	・ 耐水性2種
	・ 耐水性3種
	防火材料
	・
4 マスチック塗料塗り	(4.1.5)(4.6.2)(表4.6.1)
改修標準仕様書4.6.2による	
○5 外壁用塗膜防水塗り	(4.1.5)(4.7.2、3)(表4.7.1)
仕上げの形状	
工法	
仕上塗材の耐水性	
下地準動接合材の適用	・ 適用する
	・ 適用しない
コンクリートのひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修）による	
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による	
吹付け工法の模様材の種類	・ （所要量（kg/m ² ））
外壁用仕上塗料の種類	・ （所要量（kg/m ² ））
既存塗膜の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗り仕上げ外壁等改修）による	

7章 塗装改修工事			9章 環境改修改修工事			2 外断熱改修工事〔9.2.1～4〕		
1 材料 (7.1.3)			・ 高日射反射率塗料塗り〔G〕 下地調整(改修標準仕様書 ・ RA種 ※RB種 ・ RC種			断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 施工箇所 ※F☆☆☆☆		
○2 下地調整 (7.2.1～7)			塗料製造所の仕様による			鋼材 改修特記仕様書第8章8-3鉄骨工事 ・ 鋼材による 笠木 改修特記仕様書第3章 ・ 7×30mm製笠木による		
塗替RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ・ 図示 ・ 既存錆止め塗料の除去 鉛含有分析 分析方法 箇所			クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・ 適用する (着色剤： ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤) ・ 適用しない ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色適用 ・ 適用する ・ 適用しない			外装材 種類 防火性能 備考 ・		
下地調整			塗料製造所の仕様による			既存外壁の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章外壁改修工事による		
3 素地ごしらえ (7.3.2～7)			塗料製造所の仕様による			工法 1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
○4 錆止め塗料塗り (7.4.2、3)			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
錆止め塗料塗りの種別			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
素地面 塗装の種類 錆止め塗料の種別 工程の種別			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
鉄鋼面 SOP As種 新規 見え掛り部分 ※A種 ・ B種 ・ C種 見え隠れ部分 ・ A種 ※B種 ・ C種 塗替え ・ A種 ・ B種 ・ C種			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
DP 新規 改修標準仕様書 7.4.2(1) (イ) (a)による 塗替え 改修標準仕様書 7.4.2(1) (イ) (b)による ・ A種 ・ B種 ・ C種			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
EP-G ・ As種 ※Bs種 新規 見え掛り部分 ※A種 ・ B種 ・ C種 見え隠れ部分 ・ A種 ※B種 ・ C種 塗替え ・ A種 ・ B種 ※C種			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
錆止め塗装のまま As種 新規 見え掛り部分 ※A種 ・ B種 ・ C種 見え隠れ部分 ・ A種 ※B種 ・ C種 塗替え ・ A種 ・ B種 ※C種			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
亜鉛めっき鋼面 SOP 鋼製建具等 ※Az種 ・ Bz種 新規 鋼製建具等 ※A種 ・ B種 ・ C種 その他 ・ Az種 ※Bz種 塗替え ・ A種 ・ B種 ・ C種			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
DP Bz種 改修標準仕様書表7.4.6による			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
EP-G Cz種 新規 鋼製建具等 ※A種 ・ B種 ・ C種 その他 ・ A種 ※B種 ・ C種 塗替え ・ A種 ・ B種 ※C種			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
○5 塗装 (7.5.2～7.12.2)			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
塗装の種類 塗装面 工程 塗替え 新規			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種類 ※1種 ・ 2種			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・ クリアー塗り(CL)			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・ 77系樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・ 耐候性塗料塗り(DP)			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
鉄鋼面 上塗り等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
コンクリート面 押出成形セメント板面			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・ つや有り合成樹脂エポキシペイント塗り(EP-G)			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・ 合成樹脂エポキシペイント塗り(EP)			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・ 合成樹脂エポキシ模様塗料塗り(EP-T)			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・ ビアス塗り			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・ 木材保護塗料塗り(WP)			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
つや有合成樹脂エポキシペイント塗り(コンクリート面、珪藻土面、せっこうラス面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
合成樹脂エポキシペイント塗りの塗替えの場合のしき止め			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
・			塗料製造所の仕様による			1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 外装材の施工 通気層の有無 外装材の外壁への取付け ・ 図示 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章7×30mm製笠木による		
藤枝市スポーツ文化観光部スポーツ振興課			R8.7			建設工事名 藤枝市民大洲温水プール 外部防水改修工事		
						建築工事改修特記仕様書(R08.1) 4 / 4 A-04		

高日射反射率塗料塗り[G]
下地調整(改修標準仕様書 RA種 RB種 RC種 表7.2.2 表7.2.3)

工程	規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/m ²)
塗料塗り	JISK5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	1級 2級 3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・ 適用する (着色剤: 溶剤系着色剤 油性染料着色剤)
・ 適用しない
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色適用
・ 適用する
・ 適用しない

9章 環境配慮改修工事

1 石綿含有建材の除去工事

・ 石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考
・ 処理作業前	測定1	処理作業室内	計 () 点	(注)1	
	測定2	調査対象室外部の付近	計 () 点	大気	
・ 処理作業中	測定3	処理作業室内	計 () 点	(注)1	
	測定4	排気ダクト入口	計 () 点	—	
・ 処理作業後	測定5	集じん・排気装置の排出口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 計 () 点	—	
	測定6	処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界	計 () 点	—	
・ 処理作業後(ノット養生中)	測定7	処理作業室内	計 () 点	—	
・ 処理作業後、ノット撤去後	測定8	処理作業室内	計 () 点	(注)1	
・ 1週間以降	測定9	調査対象室外部の付近	計 () 点	大気	

注1 各施工箇所ごとの至面積が50m²以下までは2点、300m²以下までは3点とする。
300m²を超えるものは、監督員と協議する。

石綿粉塵濃度測定方法
・ 自動測定器による測定

測定名称	測定方法
測定4	粉じん相対濃度計(ゲージ粉じん計)、ヘリテイカカウンター、繊維状粒子自動測定器(リタイルファバーセクター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・ JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	ノット径φ(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
測定4	25	5	30
測定5			
測定	47	10	120
測定	47	10	240
測定			
測定			

石綿含有建材の処理
・ 石綿含有吹付け材(石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む)の除去
除去対象範囲 図示
除去工法 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等飛散防止措置 湿潤化 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・ 石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去
除去対象範囲 図示
除去工法 手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止 湿潤化 固形化
除去した石綿含有保温材等の処分 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・ 石綿含有けい酸カルシウム板第1種の切断、破砕等による除去
除去対象範囲 図示
隔離養生(負圧不要)方法 図示
足場 図示
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・ 石綿含有成形板の除去(石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手晴らしによる除去を含む)
除去対象範囲 図示
養生 行う 養生方法 行わない
除去した石綿含有成形板の処分 石綿含有せっこうボード 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
除去対象範囲 図示
除去工法 剥離材による除去 剥離材併用手工具けん引工法
養生方法
除去した石綿含有仕上塗材の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示

2 外断熱改修工事[G]

(9.2.1～4)

断熱材の種類
断熱材の厚さ(mm)
施工箇所
揮発性有機化合物放散量 F☆☆☆☆

外装材	種類	防火性能	備考

鋼材 改修特記仕様書第8章8-3鉄骨工事
笠木 改修特記仕様書第3章
鋼材による
7系鋼製笠木による

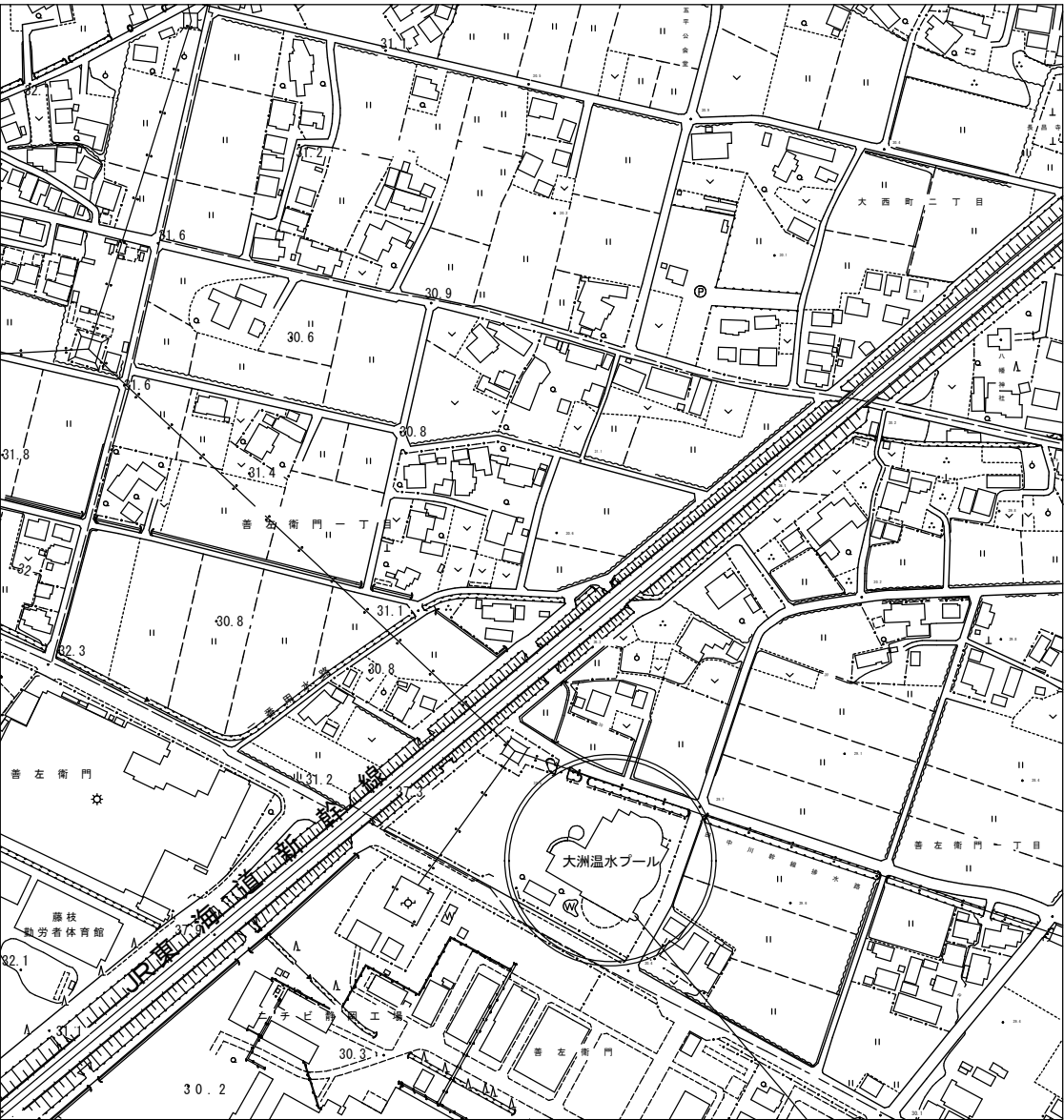
既存外壁の処置
既存外壁仕上げ材の撤去 あり なし
下地の清掃 行う 行わない
欠損部の改修工法 改修特記仕様書第4章外壁改修工事による

工法
1章 適用区分による風圧力の (1 1.15 1.3) 倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整
断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による
外装材の施工 外装材製造所の仕様による
通気層の有無 あり (mm) なし
外装材の外壁への取付け 図示
笠木の施工 改修特記仕様書第3章7系鋼製笠木による

工事概要

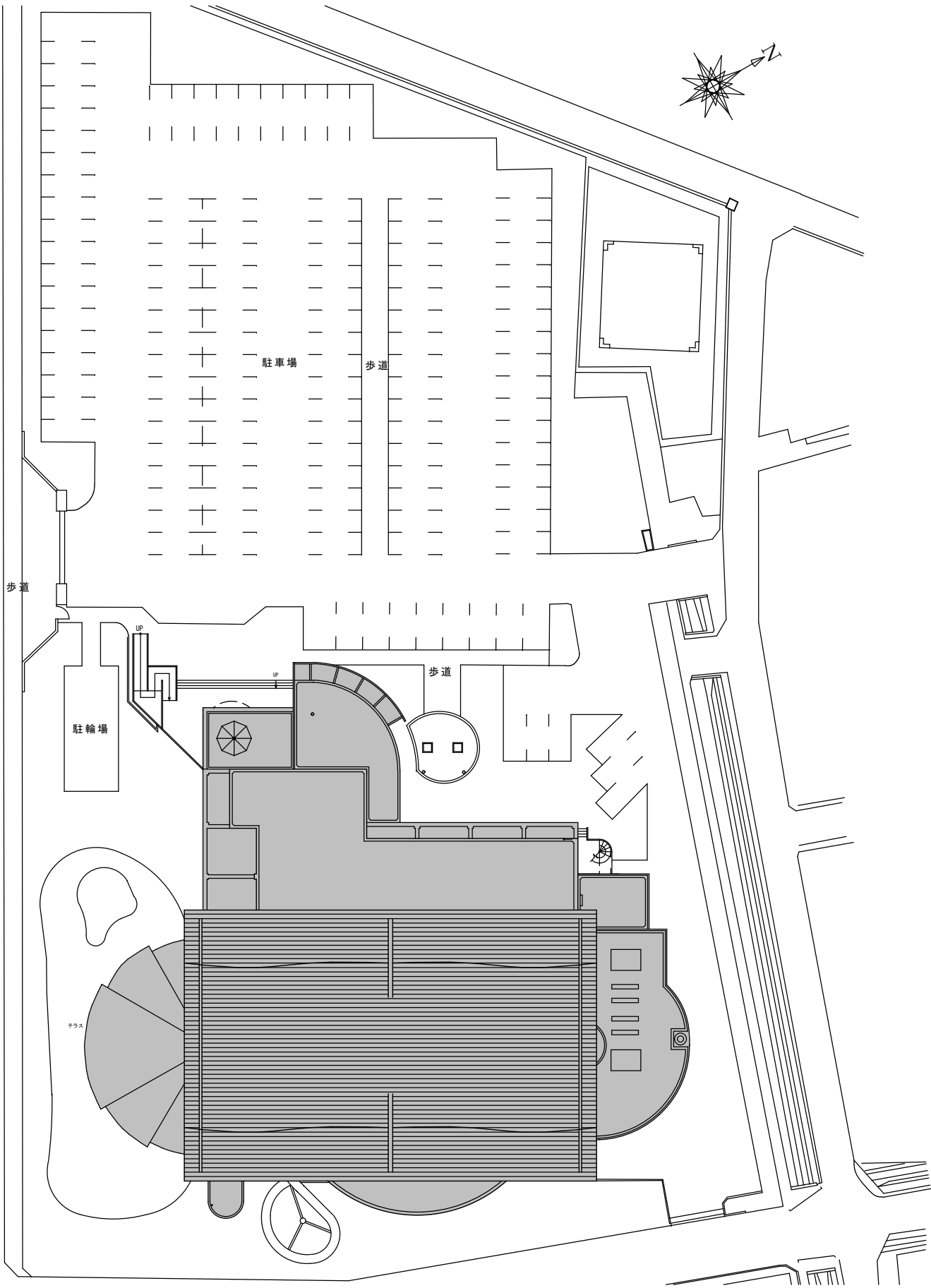
建設工事名 藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事
建設工事箇所 藤枝市 善左衛門一丁目 地内
工事内容 藤枝市民大洲温水プールの屋上及び外壁の防水改修工事
留意事項

- ・足場設置等に支障のある樹木は剪定を行うこと。
- ・本改修工事は、施設を営業しながらの工事であるため、利用者に対する安全配慮及び対応措置等を現場管理の中で行うこと。
- ・監督員及び指定管理者と調整を図り、極力、施設利用者に影響を与えない工事工程を検討すること。
- ・令和8年12月に着工予定であるろ過設備更新工事との調整を図ること。



案内図

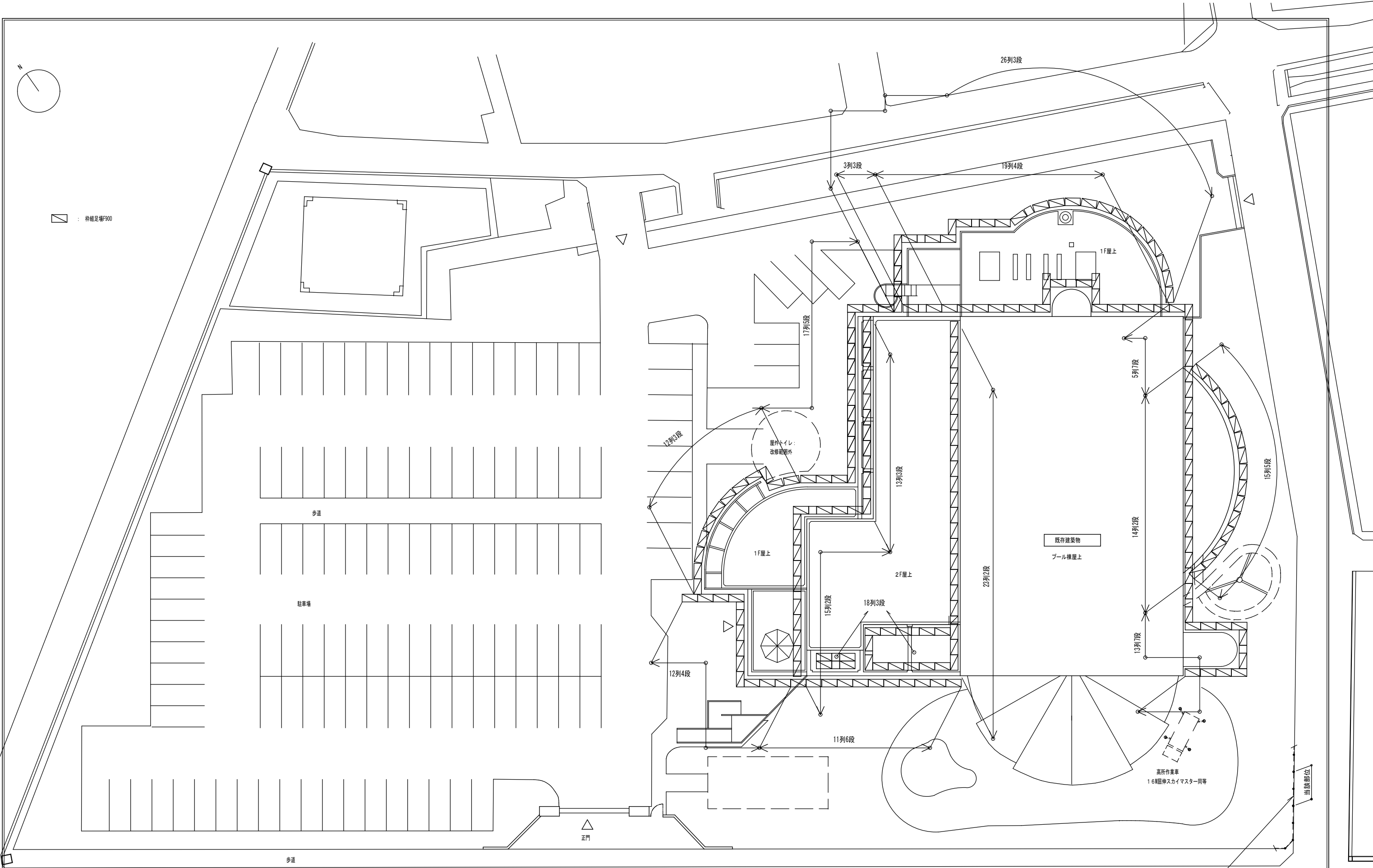
建設工事箇所



全体配置図

S=1/600

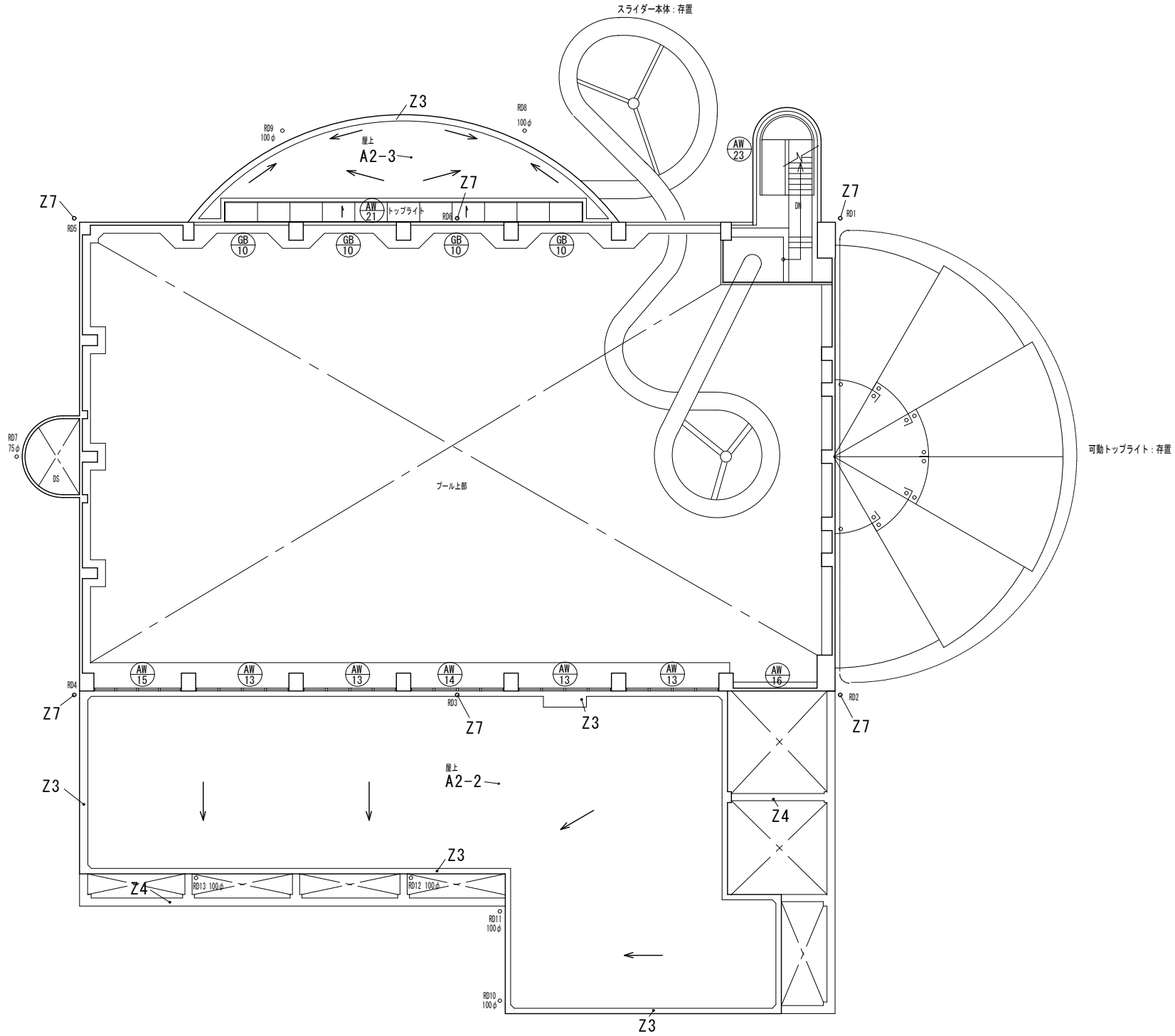
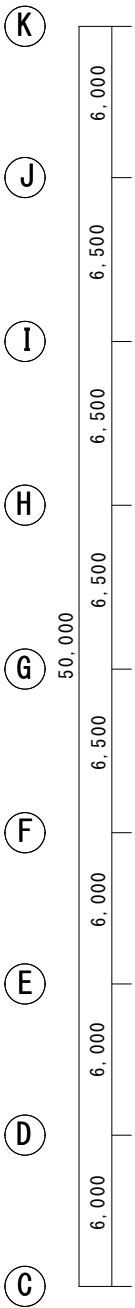
藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課 静岡県藤枝市岡出山1丁目11-1	建設工事名 藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事	図面名 工事概要、案内図、全体配置図	縮尺	NONSCALE	図面番号 A-06
			日付	2026.7	



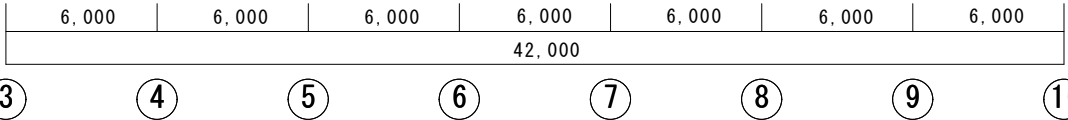
藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課 静岡県藤枝市岡出山1丁目11-1	建設工事名 藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事	図面名 仮設計画図	縮尺	1/400	図面番号 A-07
			日付	2026. 7	







部位	記号	区分	仕様	
外壁	W1 (※)	既	コンクリート化粧型枠打直し 撥水材塗布 (※：薄塗)	
		改	W1：下地調整の上 コット打放保護仕上げ塗材 (RC7x17x17x2 工法同等品)	
			W1※(基礎)：下地調整の上、可とう形改修塗材RE	
			下地補修	① 自動式エポキシ樹脂低圧注入工法
				② Uカットシール材充填工法
				③ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
				④ 外壁欠損部補修 (t15)
		※図面で示す位置は参考であり、施工数量調査後に協議の上決定する		
		W2	既	磁器質タイル張 (45角)
			改	膨れ・剥がれ・クラック部補修
軒天	C1	既	岩綿吸音板 (t9) EP-I	
		改	下地調整R種の上 EP塗装	
	C2	既	珪カル板 (t8) VE	
		改	下地調整R種の上 NAD塗装	
	C3	既	フレキシブルボード (t6) VP	
		改	下地調整R種の上 EP塗装	
屋根 (S)	R1	既	SUS鋼板 (t0.4) シーム溶接工法	
		改	(存置)	
電気室屋上 2階テラス	A1	既	アスファルト防水断熱材 (t30) 押えコンクリート	
		改	平場：伸縮目地やり替え、クラック補修、下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-1) 工法 立上り：浮き・クラック補修、下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-2) 工法	
機械室屋上 会議室屋上 ジャグジー屋上	A2	既	露出アスファルト防水付RF11コート (A2-2は改質7x7x17x17防水 (I-I工法) で改修有)	
		改	平：膨れ補修、下地調整後 改質7x7x17x17防水 (AS-J3) 立：既存防水層撤去後、改質7x7x17x17防水 (AS-J3)	
2階会議室テラス スライダーステージ階段屋上	S1	既	平：合成高分子系17x17x17防水 (S-W2) 立：既存防水層撤去後、合成高分子系17x17x17防水 (S-F2)、端末金物・端末シーリング	
		改		
破風	Z1	既	ALパネル曲 (t 2)	
		改	下地調整R B種の上 D P 塗装	
幕板	Z2	既	フッ素樹脂塗装鋼板 (t1.6) 曲加工	
		改	下地調整R B種の上 D P 塗装、部分張替	
バラベットの天端他	Z3	既	コンクリート直押え浸透性塗膜防水	
		改	下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-2) 工法	
RC小庇	Z4	既	コンクリート直押え浸透性塗膜防水	
		改	下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-2) 工法	
鉄骨トラス	Z5	既	ウレタン塗装	
		改	下地調整R B種の上 D P 塗装	
鉄部	Z6	既	GP塗装	
		改	下地調整R B種の上 D P 塗装	
たて樋 (RD-n)	Z7	既	—	
		改	下地調整R C種の上 D P 塗装	
鋼製建具 (SD)	Z8	既	GP塗装	
		改	下地調整R B種の上 D P 塗装	
共通仕様			・ 改修部は全て、水洗い(高圧洗浄 10～15MPa)を施す ・ 既存 脱気筒 17x17x17は全てやり替えとする ・ 開口部周り、外壁・タイル目地等 既設シーリング撤去処分の上、WS-2打替 ・ 図面で示すクラック等の位置は参考であり、施工数量調査に基づく協議の上で決定する	



藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課
静岡県藤枝市岡出山1丁目11-1

建設工事名
藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事

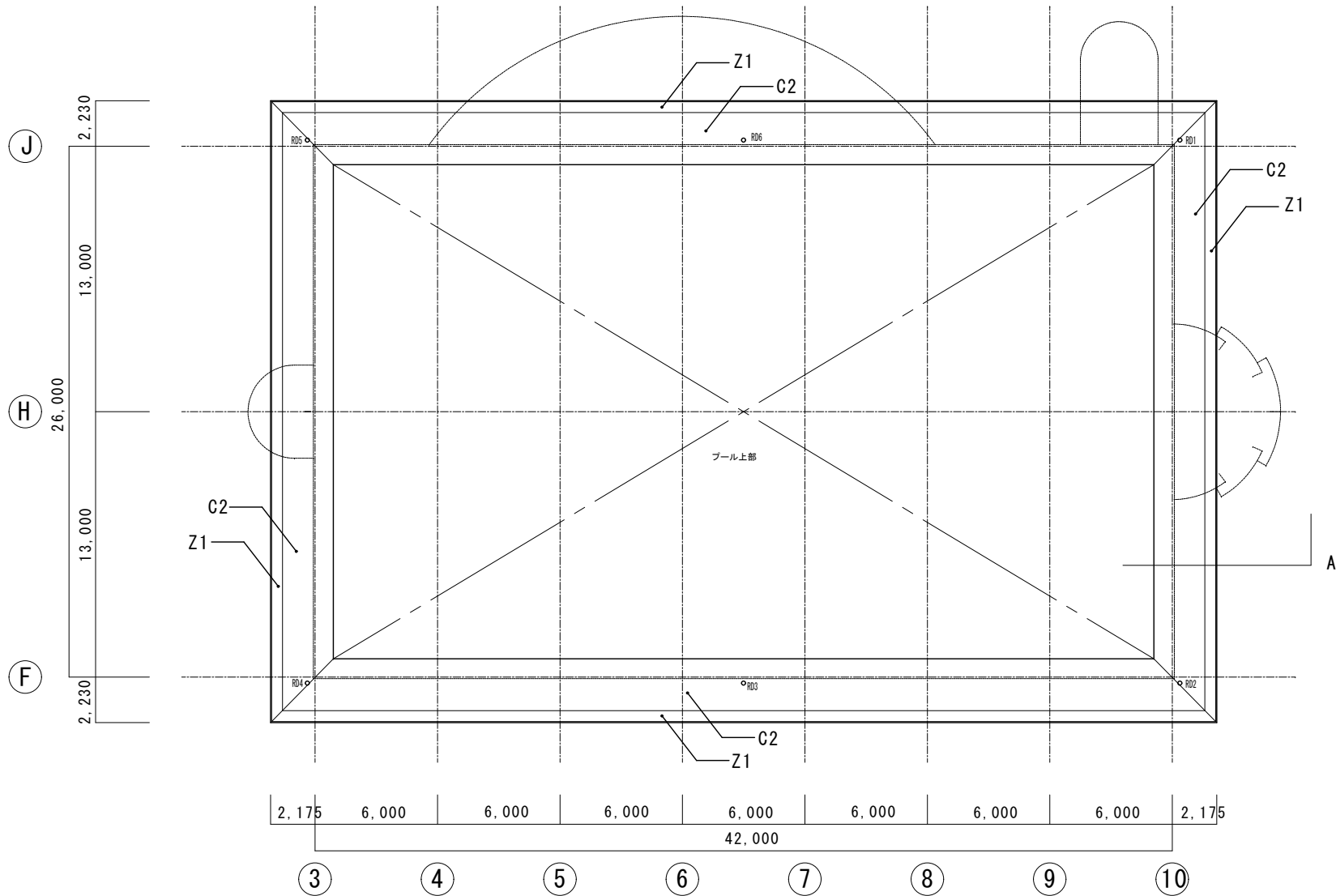
図面名
R階平面図

縮尺
日付

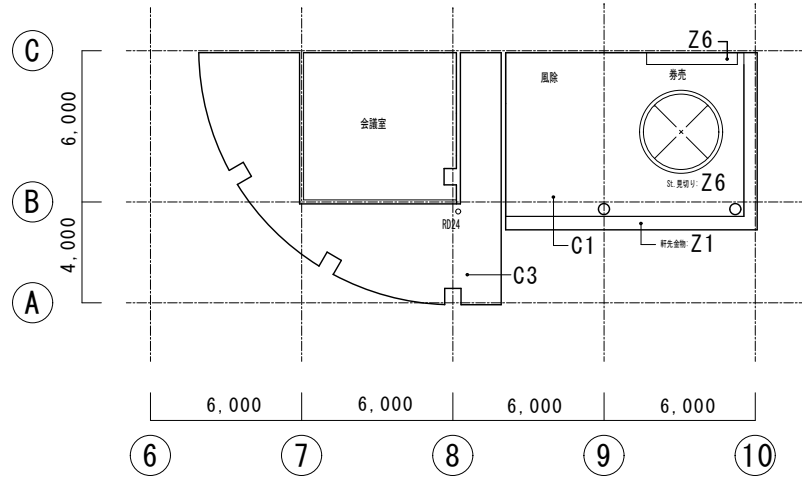
1/300
2026.7

図面番号
A-10

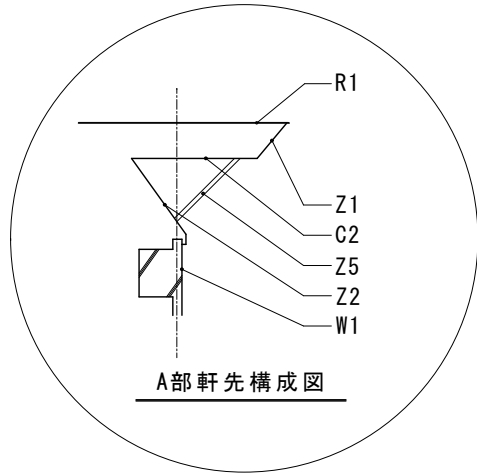




R階軒伏図



1階軒伏図



A部軒先構成図

部位	記号	区分	仕様	
外壁	W1 (※)	既	コンクリート化粧型枠打直し 撥水材塗布 (※：薄塗)	
		改	W1: 下地調整の上 コンクリート打放保護仕上げ塗材 (RC711/ケレン工法同等品)	
			W1※(基礎): 下地調整の上、可とう形改修塗材RC	
		下地補修	①	自動式エポキシ樹脂低圧注入工法
			②	Uカットシール材充填工法
			③	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
			④	外壁欠損部補修 (t15)
			※図面で示す位置は参考であり、施工数量調査後に協議の上決定する	
		W2	既	磁器質タイル張 (45角)
			改	膨れ・割れ・クラック部補修
軒天	C1	既	岩綿吸音板 (t9) EP-I	
		改	下地調整RC種の上 EP塗装	
	C2	既	建カル板 (t8) VE	
		改	下地調整RC種の上 NAO塗装	
	C3	既	フレキシブルボード (t6) VP	
		改	下地調整RC種の上 EP塗装	
屋根 (S)	R1	既	SUS鋼板 (t0.4) シーム溶接工法	
		改	(存置)	
電気室屋上 2階テラス	A1	既	アスファルト防水断熱材 (t30) 押えコンクリート	
		改	平場: 伸縮目地やり替え、クラック補修、下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-1) 工法 立上り: 浮き・クラック補修、下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-2) 工法	
機械室屋上 会議室屋上 ジャグジー屋上	A2	既	露出アスファルト防水砂付RFフラット (A2-2)は改質7777フラット防水 (I-F工法)で改修有)	
		改	平: 膨れ補修、下地調整後 改質7777フラット防水 (AS-J3) 立: 既存防水層撤去後、改質7777フラット防水 (AS-J3)	
2階会議室テラス スライディング階段屋上	S1	既	ブチルゴムシート防水	
		改	平: 合成高分子系スライディングシート防水 (S-W2) 立: 既存防水層撤去後、合成高分子系スライディングシート防水 (S-F2)、端金金物・端金シーリング	
破風	Z1	既	ALパネル曲 (t2)	
		改	下地調整R B種の上 D P 塗装	
幕板	Z2	既	フッ素樹脂塗装鋼板 (t1.6) 曲加工	
		改	下地調整R B種の上 D P 塗装、部分張替	
バラベットの天端地	Z3	既	コンクリート直押え浸透性塗膜防水	
		改	下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-2) 工法	
RC小庇	Z4	既	コンクリート直押え浸透性塗膜防水	
		改	下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-2) 工法	
鉄骨トラス	Z5	既	ウレタン塗装	
		改	下地調整R B種の上 D P 塗装	
鉄部	Z6	既	DP塗装	
		改	下地調整R B種の上 D P 塗装	
たて樋 (RD-n)	Z7	既	ー	
		改	下地調整R C種の上 D P 塗装	
鋼製建具 (SD)	Z8	既	DP塗装	
		改	下地調整R B種の上 D P 塗装	
共通仕様			・改修部は全て、水洗い(高圧洗浄) 10～15MPa)を施す ・既存、脱気筒 フラットは全てやり替えとする ・開口部周リ、外壁・タイル目地等 既設シーリング撤去処分の上、WS-2打替 ・図面で示すクラック等の位置は参考であり、施工数量調査に基づく協議の上で決定する	

藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課
静岡県藤枝市岡出山1丁目11-1

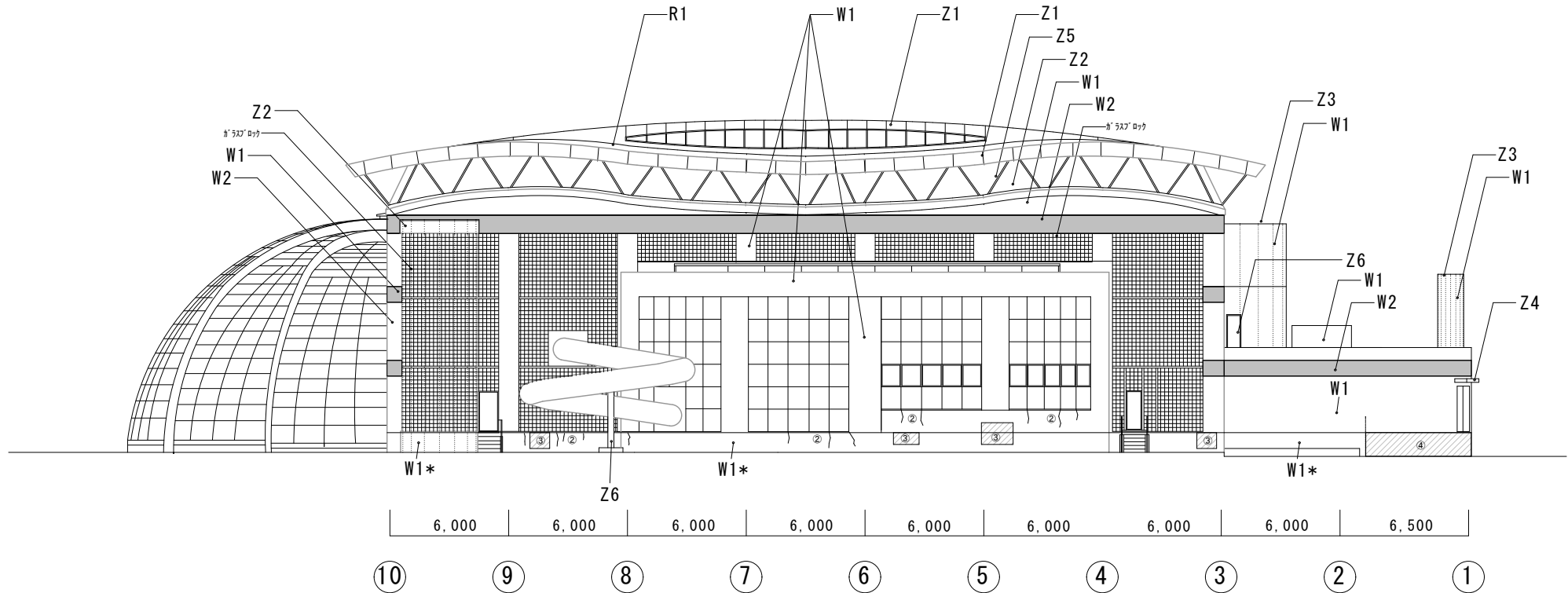
建設工事名
藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事

図面名
軒伏図

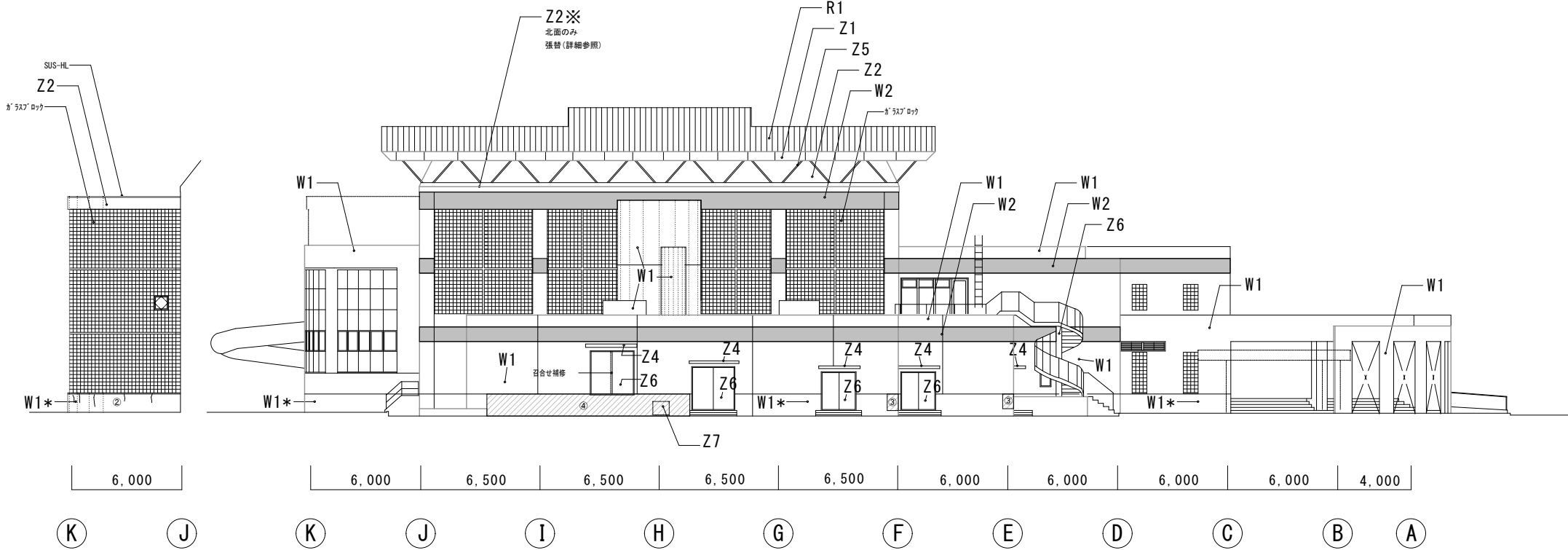
縮尺
日付

1/300
2026.7

図面番号
A-12



東立面図



北立面図

部位	記号	区分	仕様	
外壁	W1 (※)	既	コンクリート化躯体枠打放し 撥水材塗布 (※: 薄塗)	
		改	W1: 下地調整の上 コット打放保護仕上げ塗材 (RC7t/777t 工法同等品)	
			W1※(基礎): 下地調整の上、可とう形改修塗材庇	
			下地補修	① 自動式エポキシ樹脂低圧注入工法
				② Uカットシール材充填工法
				③ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
				④ 外壁欠損部補修 (t15)
				※図面で示す位置は参考であり、施工数量調査後に協議の上決定する
		W2	既	磁器質タイル張 (45角)
		改	膨れ・割れ・クラック部補修	
軒天	C1	既	岩綿吸音板 (t9) EP- I	
		改	下地調整RC種の上 EP塗装	
	C2	既	珪カル板 (t8) VE	
		改	下地調整RC種の上 NAD塗装	
	C3	既	フレキシブルボード (t6) VP	
		改	下地調整RC種の上 EP塗装	
屋根 (S)	R1	既	SUS鋼板 (t0.4) シーム滑接工法	
		改	(存置)	
電気室屋上 2階テラス	A1	既	アスファルト防水断熱材 (t30) 押えコンクリート	
		改	平張: 伸縮目地やり替え、クラック補修、下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-1) 工法 立上り: 浮き・クラック補修、下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-2) 工法	
機械室屋上 会議室屋上 ジャグジー屋上	A2	既	露出アスファルト防水砂付珪付コート (A2-2は改質777tシート防水 (トナ工法) で改修有)	
		改	平: 剥れ補修、下地調整後 改質777tシート防水 (AS-J3) 立: 既存防水層撤去後、改質777tシート防水 (AS-J3)	
2階会議室テラス スライダ階段屋上	S1	既	ブチルゴムシート防水	
		改	平: 合成高分子系3-Fリングシート防水 (S-M2) 立: 既存防水層撤去後、合成高分子系3-Fリングシート防水 (S-F2)、端末金物・端末3-Fリング	
破風	Z1	既	ALバネル曲 (t 2)	
		改	下地調整RB種の上 DP 塗装	
幕板	Z2	既	フッ素樹脂塗装鋼板 (t1.6) 曲加工	
		改	下地調整RB種の上 DP 塗装、部分張替	
バラベット天端他	Z3	既	コンクリート直挿え浸透性塗膜防水	
		改	下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-2) 工法	
RC小庇	Z4	既	コンクリート直挿え浸透性塗膜防水	
		改	下地調整後ウレタン系塗膜防水 (X-2) 工法	
鉄骨トラス	Z5	既	ウレタン塗装	
		改	下地調整RB種の上 DP 塗装	
鉄部	Z6	既	OP塗装	
		改	下地調整RB種の上 DP 塗装	
たて樋 (RD-n)	Z7	既	—	
		改	下地調整RC種の上 DP 塗装	
鋼製建具 (SD)	Z8	既	OP塗装	
		改	下地調整RB種の上 DP 塗装	
共通仕様			・改修部は全て、水洗い(高圧ノズル 10～15MPa)を施す ・既存、脱気筒 3-Fドレインは全てやり替えとする ・開口部周リ、外壁・タイル目地等 既設シーリング撤去処分の上、MS-2打替 ・図面で示すクラック等の位置は参考であり、施工数量調査に基づく協議の上で決定する	

藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課
静岡県藤枝市岡出山1丁目11-1

建設工事名
藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事

図面名
立面図 2

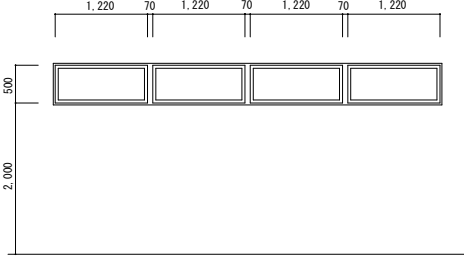
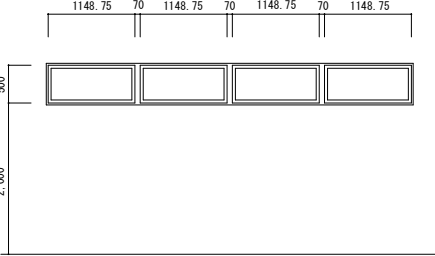
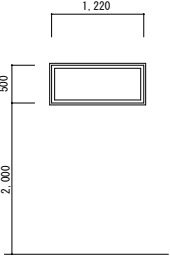
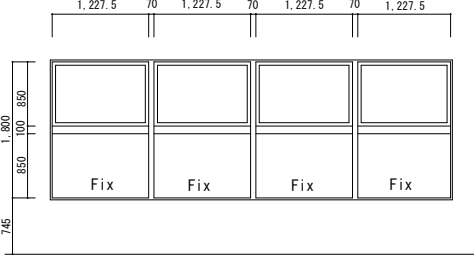
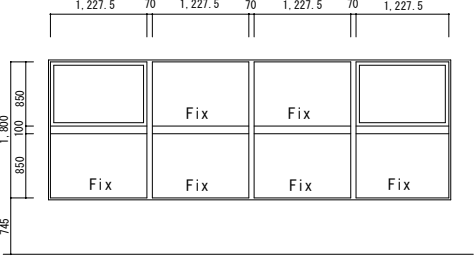
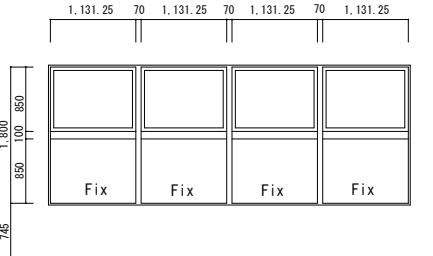
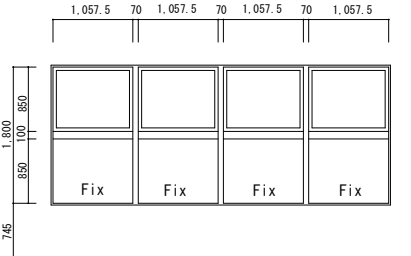
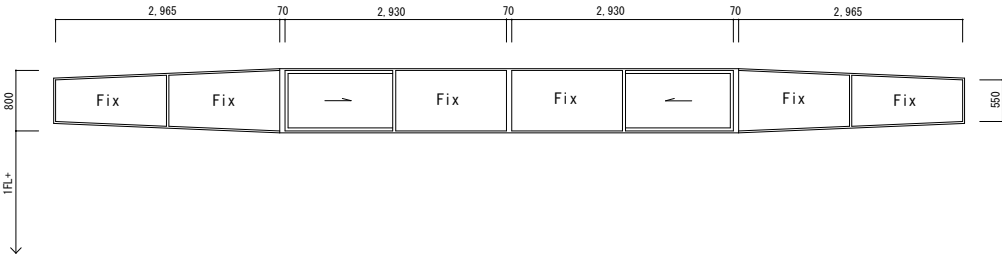
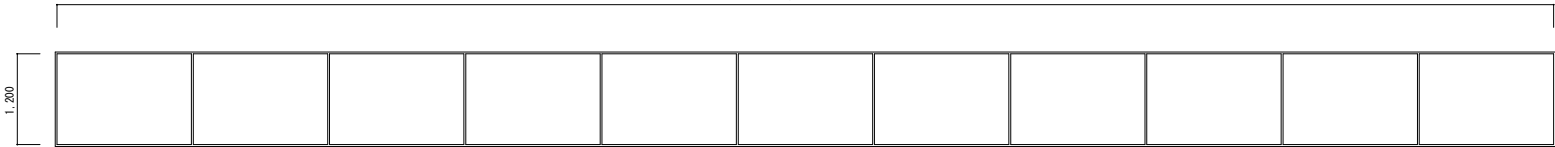
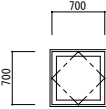
縮尺
日付

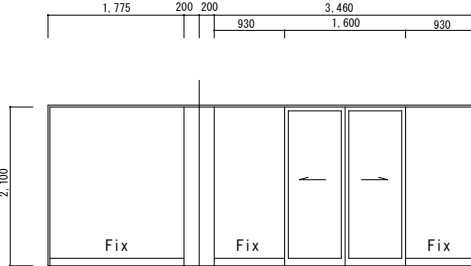
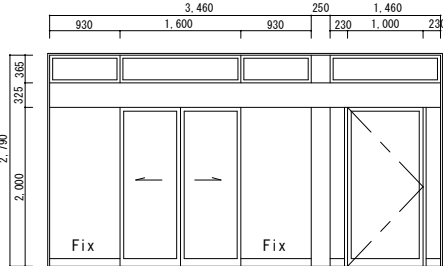
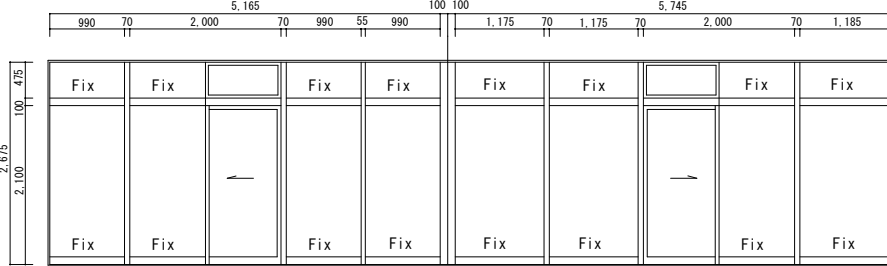
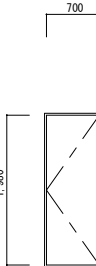
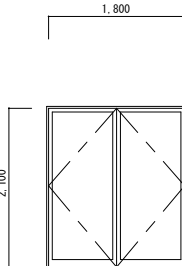
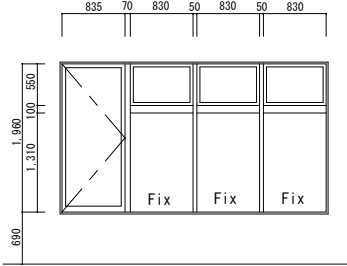
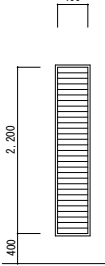
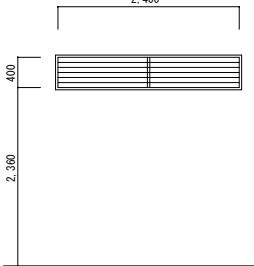
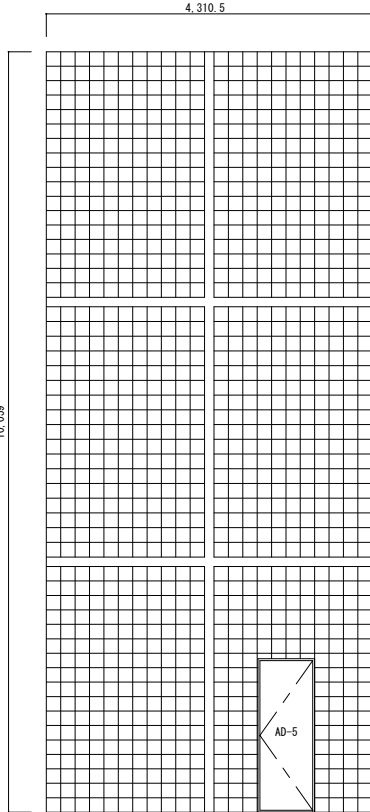
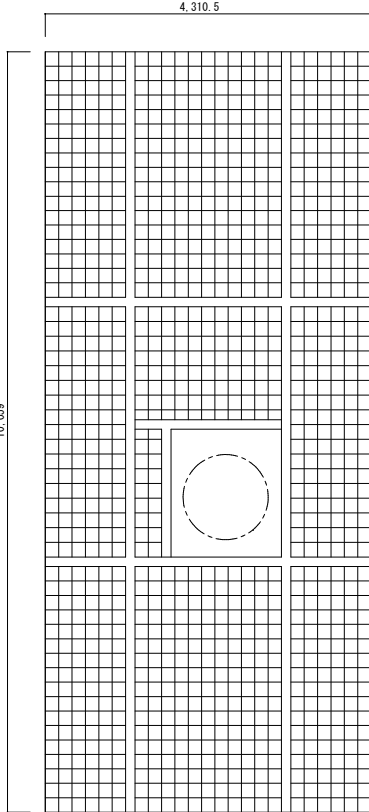
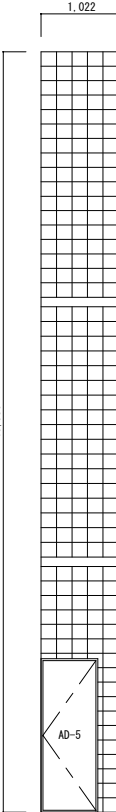
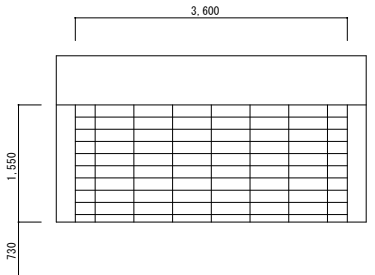
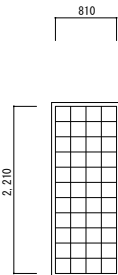
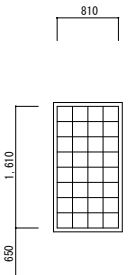
1/300
2026.7

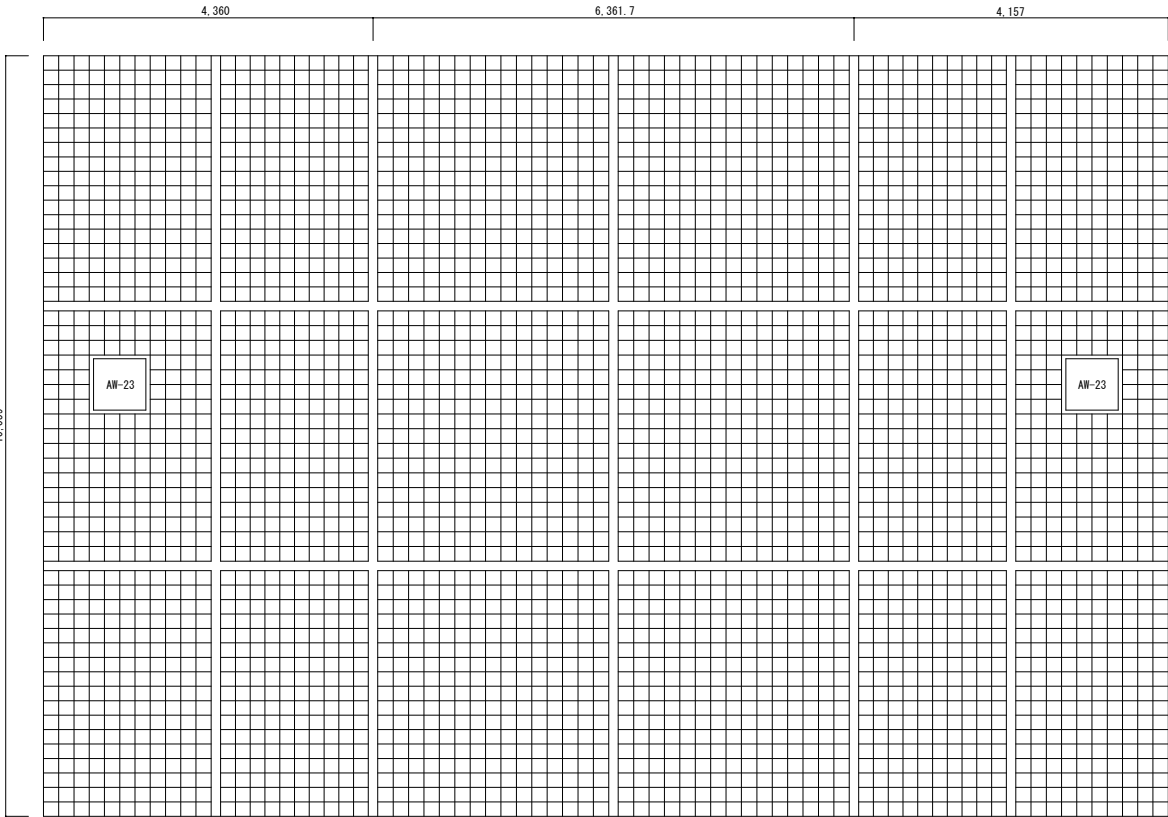
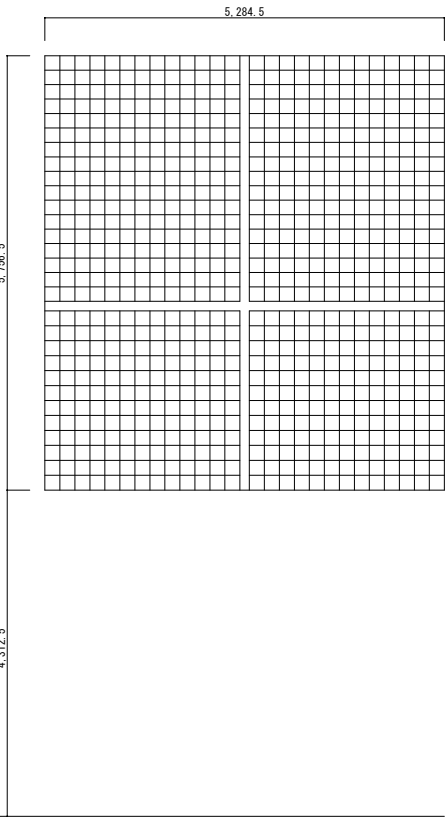
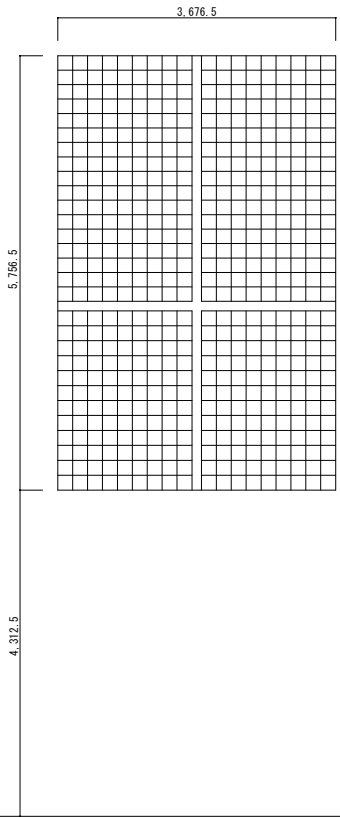
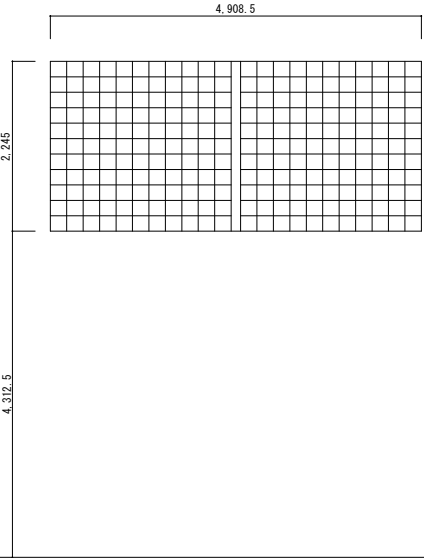
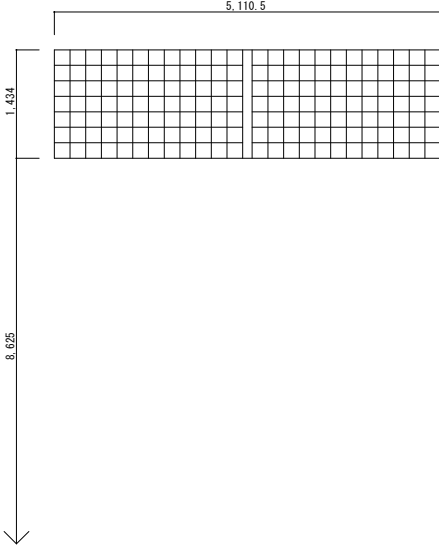
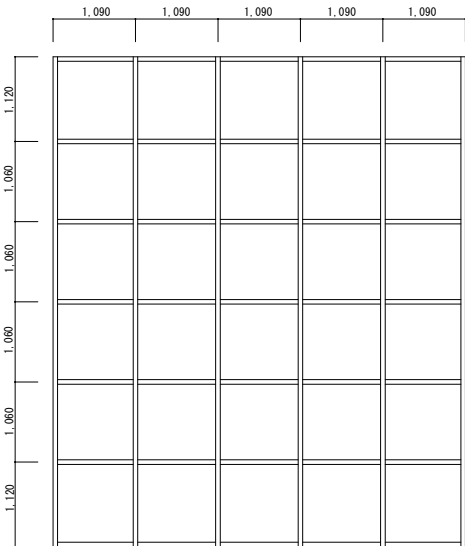
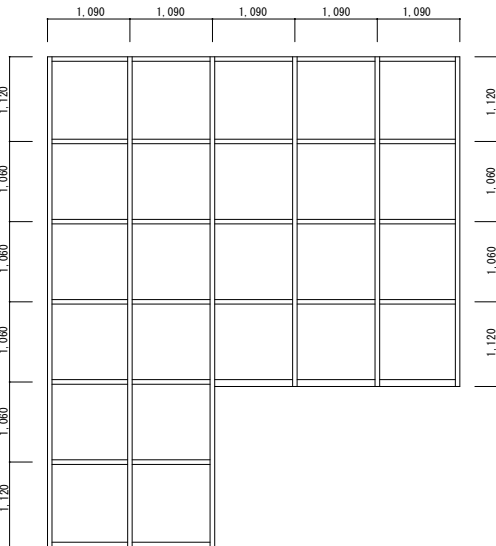
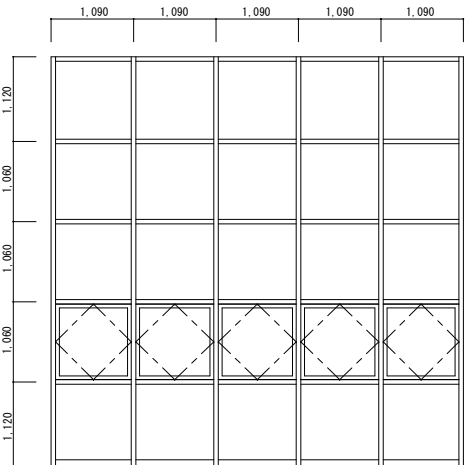
図面番号
A-14

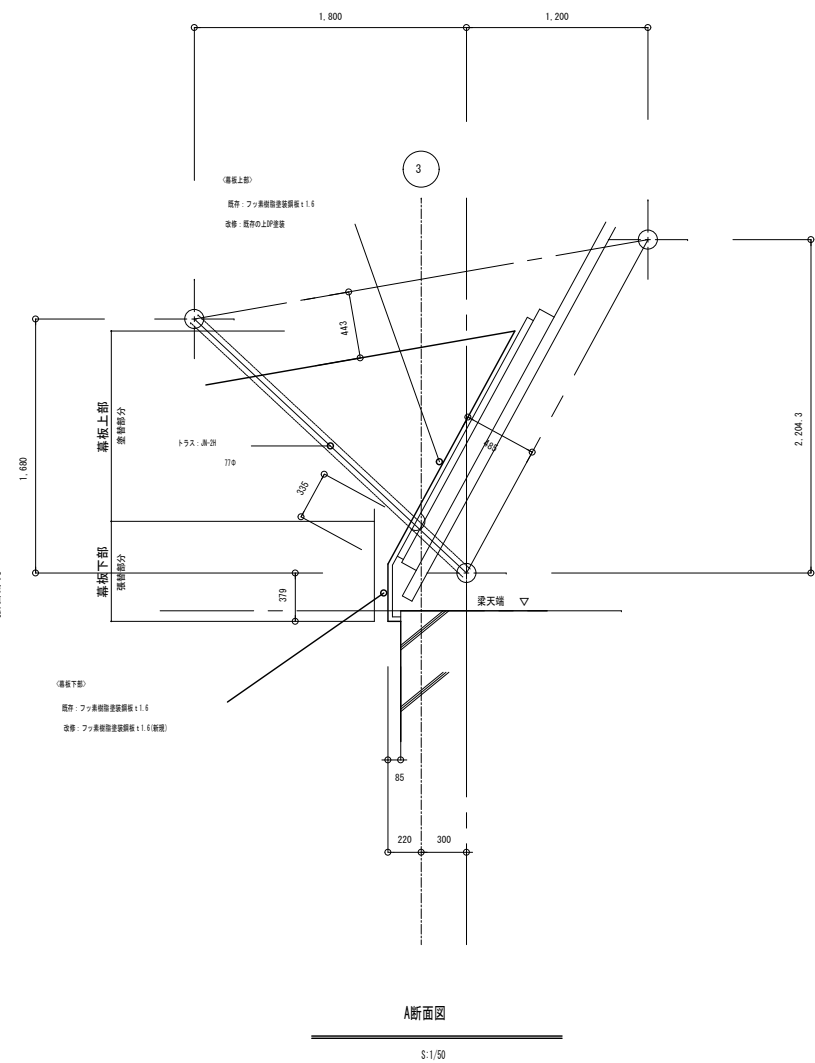
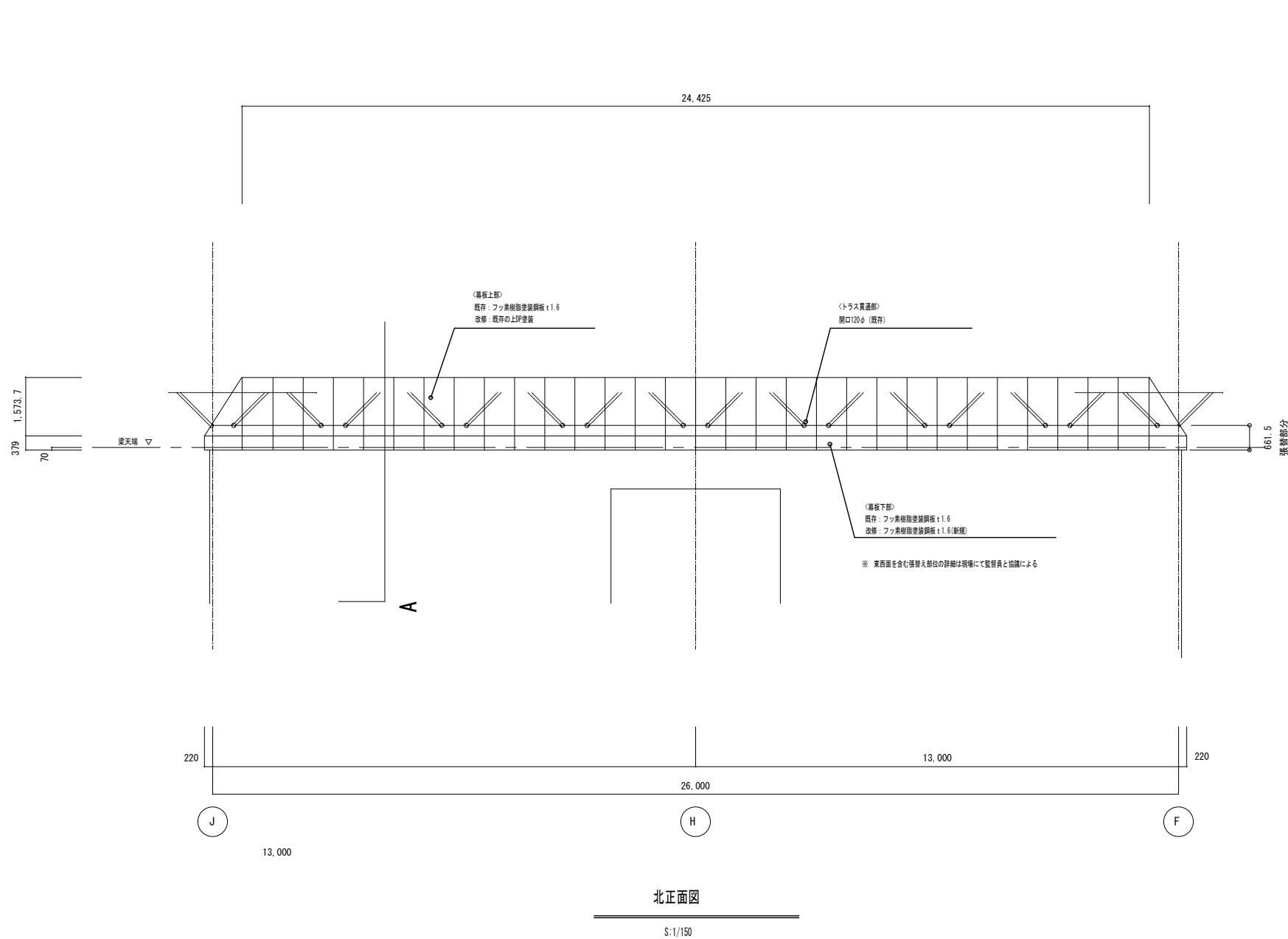
記 号	SD-1	SD-2	SD-3	SD-5	SD-7			
姿 図								
室 名	ろ過機械室、ボイラー室	電気室	空調機械室	電気室	DS			
改 修	DP塗装 召合せ交換 シーリング MS-2	DP塗装 シーリング MS-2	DP塗装 シーリング MS-2	DP塗装 シーリング MS-2	DP塗装 シーリング MS-2			
備 考								
記 号	AW-1		AW-2		AW-3		AW-4	
姿 図								
室 名	2階トレーニング室		2階休憩コーナー		監視員・指導員室		事務室	
改 修	シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2	
備 考								
記 号	AW-5		AW-6		AW-7		AW-8	AW-9
姿 図								
室 名	事務室		2階会議室		2階会議室		トレーニング室	事務室
改 修	シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2	シーリング MS-2
備 考								

藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課		建設工事名		図面名		縮尺	1/100	図面番号
静岡県藤枝市岡出山1丁目11-1		藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事		建具表 1		日付	2026. 7	
A-15								

記 号	AW-10	AW-11	AW-12	AW-13	AW-14
姿 図					
室 名	1 階廊下・ロッカー室	ロッカー室	1 階廊下	プール室上部	プール室上部
改 修	シーリング MS-2	シーリング MS-2	シーリング MS-2	シーリング MS-2	シーリング MS-2
備 考					
記 号	AW-15	AW-16	AW-17		
姿 図					
室 名	プール室上部	プール室上部	プール室上部		
改 修	シーリング MS-2	シーリング MS-2	シーリング MS-2		
備 考					
記 号	AW-21				AW-23
姿 図					
室 名	プール室上部				スライダー階段室上部
改 修	シーリング MS-2				シーリング MS-2
備 考					
藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課 静岡県藤枝市岡出山 1 丁目 1 1 - 1		建設工事名 藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事		図面名 建具表 2	
				縮尺 日付	1/100 2026. 7
				図面番号 A-16	

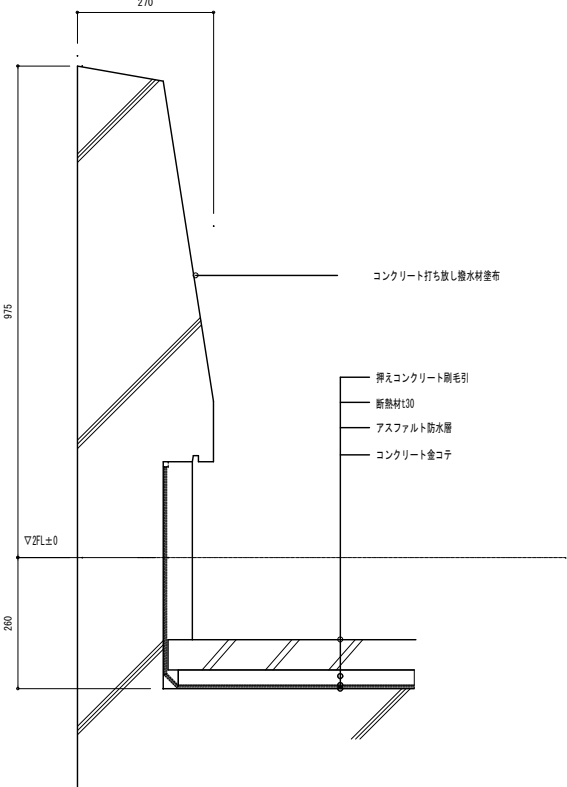
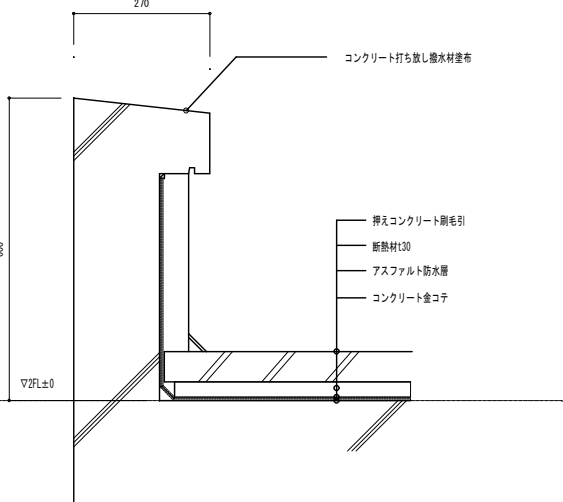
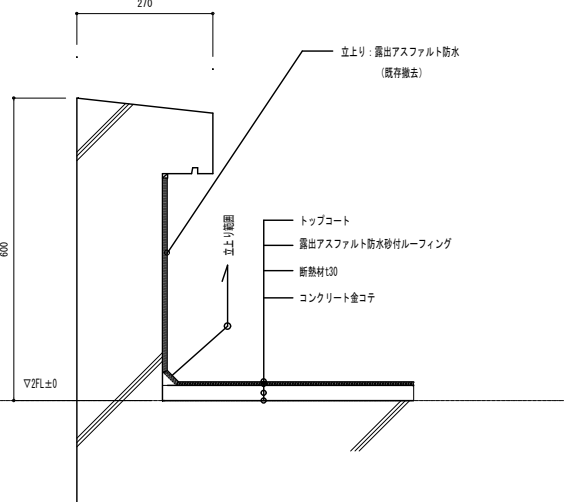
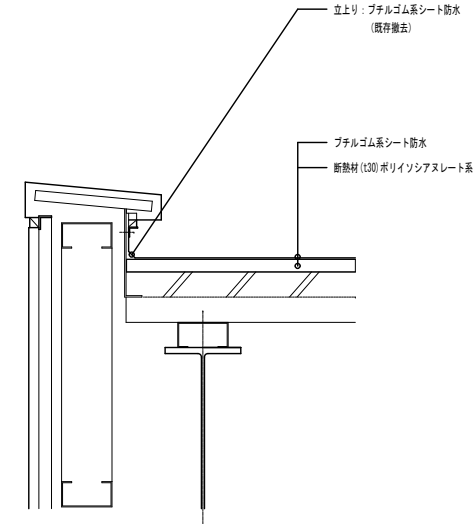
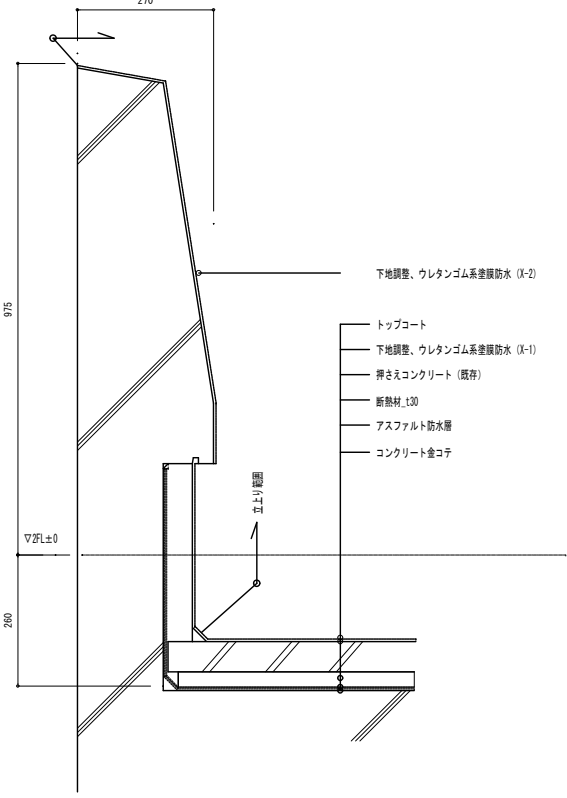
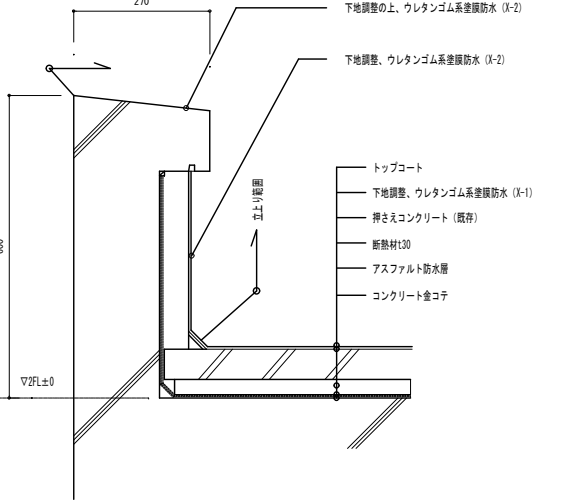
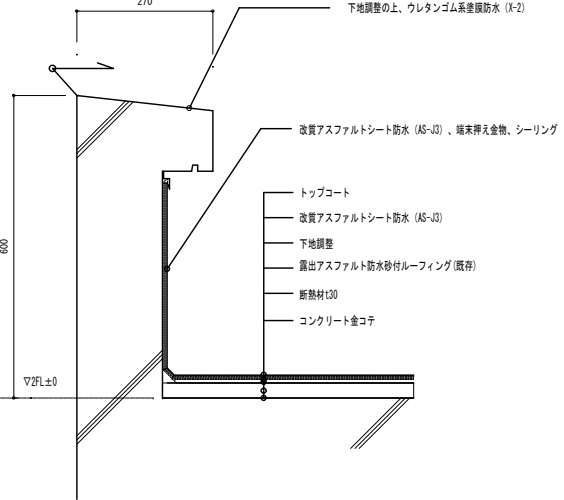
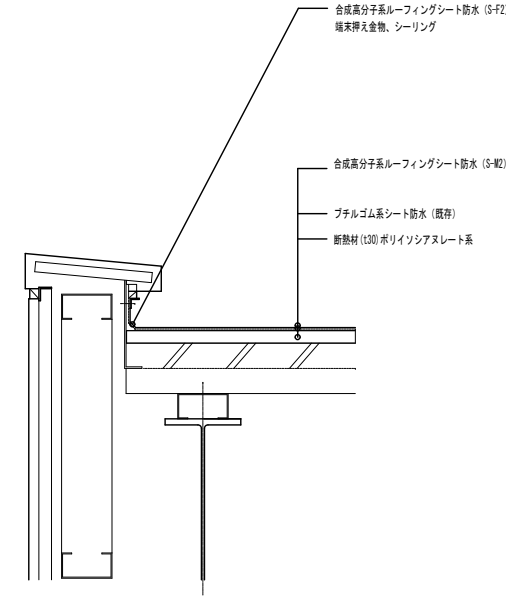
記 号	AD-1		AD-2		AD-3			AD-5		AD-6		
姿 図												
室 名	風除室		エントランスホール		1 階会議室			プール室		1 階会議室		
改 修	シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2			シーリング MS-2		シーリング MS-2		
備 考												
記 号	AD-11		AG-2		AG-3		GB-3		GB-4		GB-5	
姿 図												
室 名	2 階観覧スペース		ロッカー室		1 階トイレ		プール室		プール室		プール室	
改 修	シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2	
備 考												
記 号	SS-6		GB-1		GB-2							
姿 図												
室 名	券売場		1 階トイレ		2 階トイレ		プール室		プール室		プール室	
改 修	シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2		シーリング MS-2	
備 考												
藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課 静岡県藤枝市岡出山 1 丁目 1 1 - 1			建設工事名 藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事			図面名 建具表 3			縮尺 日付	1/100 2026. 7	図面番号 A-17	

記 号		GB-6		GB-7		GB-8		GB-9	
姿 図									
室 名		プール室 階段室		プール室 上部		プール室 上部		プール室 上部	
改 修		シーリング* MS-2		シーリング* MS-2		シーリング* MS-2		シーリング* MS-2	
備 考									
記 号		GB-10		ACW-1		ACW-2		ACW-3	
姿 図									
室 名		プール室 上部		プール室		プール室		プール室	
改 修		シーリング* MS-2		シーリング* MS-2		シーリング* MS-2		シーリング* MS-2	
備 考									
藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課 静岡県藤枝市岡出山 1 丁目 1 1 - 1			建設工事名 藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事		図面名 建具表 4		縮尺 日付	1/100 2026. 7	図面番号 A-18



トラス：JW-ZH 露出面積
0.077 x3.14 x1.8m x94ヶ所 = 40.04m2

藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課 静岡県藤枝市岡出山1丁目11-1	建設工事名 藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事	図面名 軒下パネル詳細図	縮尺	1/150, 1/50	図面番号 A-19
			日付	2026.7	

A1-1 2階テラス（歩行用）アスファルト防水 【現況】  270 975 ±0 260 コンクリート打ち放し防水材塗布 押えコンクリート剥毛引 断熱材130 アスファルト防水層 コンクリート金コテ	A1-2 電気室屋上（歩行用）アスファルト防水 【現況】  270 600 ±0 コンクリート打ち放し防水材塗布 押えコンクリート剥毛引 断熱材130 アスファルト防水層 コンクリート金コテ	A2-1 機械室屋上（非歩行用）露出アスファルト防水 【現況】  270 600 ±0 立上り：露出アスファルト防水（既存撤去） 立上り範囲 トップコート 露出アスファルト防水砂付ルーフィング 断熱材130 コンクリート金コテ	S1-2 スライダー階段室屋上シート防水 【現況】  立上り：ブチルゴム系シート防水（既存撤去） ブチルゴム系シート防水 断熱材130 ポリイソシアヌレート系
【改修】  270 975 ±0 260 下地調整、ウレタンゴム系塗膜防水 (K-2) トップコート 下地調整、ウレタンゴム系塗膜防水 (K-1) 押さえコンクリート（既存） 断熱材130 アスファルト防水層 コンクリート金コテ 立上り範囲	【改修】  270 600 ±0 下地調整の上、ウレタンゴム系塗膜防水 (K-2) 下地調整、ウレタンゴム系塗膜防水 (K-2) 立上り範囲 トップコート 下地調整、ウレタンゴム系塗膜防水 (K-1) 押さえコンクリート（既存） 断熱材130 アスファルト防水層 コンクリート金コテ	【改修】  270 600 ±0 下地調整の上、ウレタンゴム系塗膜防水 (K-2) 改質アスファルトシート防水 (AS-J3)、端部押さえ金物、シーリング トップコート 改質アスファルトシート防水 (AS-J3) 下地調整 露出アスファルト防水砂付ルーフィング（既存） 断熱材130 コンクリート金コテ	【改修】  合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-F2) 端部押さえ金物、シーリング 合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-F2) ブチルゴム系シート防水（既存） 断熱材130 ポリイソシアヌレート系
藤枝市役所スポーツ文化観光部スポーツ振興課 静岡県藤枝市岡出山1丁目11-1	建設工事名 藤枝市民大洲温水プール外部防水改修工事	図面名 防水詳細図	縮尺 日付 1/15 2026. 7 図面番号 A-20